科目 衣と生活

高等学校 令和5年度 (2学年用) 教科 学系 科 教 科: 学系 料 目: 衣と生活 単位数: 2 単位 対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組

使用教科書: (

教科 学系

マンロボート 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりに 【知 識 及 び 技 能] ついて理解を深め、とくに衣生活について、生活を主体的に営むために必要な理解 を図るとともに、それらに係る技能を導入さけけるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、 地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

14	目 衣と生活 【知識及び技能】	の目標:	【思老カー判	断力、表現力等】	【学だに向	かうカ	人間性	: 等】	
のに	活を主体的に営むために必要な衣生; 基礎的なことについて理解している。		生涯を見通して、家庭 生活の中から問題を見 解決策を構想し、実践	や地域及び社会におけるいだして課題を設定し, を評価・改善し, 考察して論理的に表現するなど	様々な人々と協働し けて、課題の解決に り返って改善したり	びに向かう力、人間性等】 鉱働し、よりよい社会の構築に向 解決に主体的に取り組んだり、振 したりして、地域社会に参画しよ もに、自分や家庭、地域の生活を しようとしている。			
Ī	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知	思	態	配当時数
1 学期		・オリエンテーション ・基礎線い様で ・ミシン線い様で ・手縫い・ミシン線いの小物作り①		知識及び技能] 大生活を取りを、課題、日本と世界の衣文化 など、被服と人生の関わりについて理解を深め など、被服と人生の関わりについて理解を深め いっスイフステージの特徴や課題に当日、身体 ともに、健康と安全、環境に配慮した国土と同 を動かる生活の「一般など、大生活の は、健康と安全、環境に配慮した国土と原 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		0	0	0	22
2 学期	・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適。	 ・ 尹融い・ミシン縫いの小物づくり② ・ 刺しゅうの基礎 編み物の基礎		「知識及び技能」 ・		0	0	0	28
3 学期	3. 46.46 (a. 3) (b. 37. à 36.5 (b.) (b. 37. à 37.	• 自由作品作り		【知識及び技能】 ・ 次生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化 など、被服と人との関わりについて理解を深め ている。フステージの特徴や課題に発し、身体 特性と被服の機能及な考弦について理解を深め ・ 特性と被服の機能及な考弦に心は、一般 ・ はまるととした。・ 健康と安全、環境に配慮した自己と家・整理、適切にできる。 ・ 接触が重要を関係してきない。 ・ 接触が上のできる。 ・ 接触が上のできる。 ・ 接触が上を強いできる。 ・ 接触が上が表しまった。 ・ 接触が上が表しまった。 ・ は まないでは、一般 ・ は まないでは、一般 ・ は まないないないないないないないないないないないないないないないないないないない		0	0	0	20